

ホームさつき

# 春をよぶ雛人形

## 利用者・ご家族に大好評

ホームさつき開設に際して、石橋章一顧問（元理事長）に寄贈いただいたものです。毎年2月から1階エントランスに飾りますが、大変好評で、お雛様の前で記念撮影も。

五月人形も頂いており、4月になれば1階和室で飾ります。

組合員の作品



水彩画  
「オペラの響き」  
成田支部  
大原 郁子

### 短歌

紅白の梅の咲きいる境内に舞える神子の紅白の衣

門真中央支部 兵頭 克己

平成が終わるといつて騒々しい時の流れに継ぎ目などない

門真西支部 遠藤 彰

店先の水槽を泳ぐ金魚二尾二尾なることの安らぎを見つ

ゆづゆ支部 長 勝昭

さしあたり体調に変わりなきことをよろこび新年の雑煮いただく

守口さつき西支部 中山 惟行

偶然と必然が撚る一本の綱に曳かれて老境を往く

守口さつき西支部 木下 一

### 「たび」のおまけ

#### 種田山頭火の

#### 歌碑を訪ねる

山口県・防府市



防府駅前に立つ山頭火像

防府市は自由律の俳人、放浪の俳人として根強い人気の種田山頭火（本名種田正一）の生地です。

JR防府駅前に「アスピラート」とよばれる防府市地域交流センターが見えます。さつそく、のぞいてみましょう。

一階フロアの右手に法衣姿の立看板「種田山頭火の部屋」とあります。山頭火の年譜（1882～1940）や行乞姿の写真が展示されています。

来館者による「好きな山頭火の句アンケート」の結果が発表されています。一位は〈分け入っても分け入っても青い山〉

その句の短冊をいただき



周防大道八幡宮



俳人種田山頭火生家跡

きました。

山頭火の生家跡には〈生まれた家はあとかたもないほうたる〉の句碑。そして句碑の前に酒の大好きな山頭火のため一升瓶がそえられています。

旧家の資産家で大種田といわれた家が没落、再興のため、父と大道（現防府市）で酒造業をはじめます。

JR大道駅から種田酒造を訪ねて、8月の炎天下、ゆづに一時

少年時代の山頭火が生家から小学校まで通学した「山頭火の小径」

間以上歩き辿り着きました。汗を拭いながら見たのは、朽ち果てた工場跡といった建物の困い塀。塀には背の高い雑草がはっついてます。表にまわると、大林酒舗と書かれた店の袖看板に山頭火の句〈酔うてこぼろぎと寝ていたよ〉

八幡宮の説明木板には「豊かな笑いの絶えないにこにこつらかな：豊かな社会づくりを願って」と山頭火の句との因縁を綴っています。

大きなおまけ。大林酒舗さんありがとございました。

門真南支部 福山 斌尋